

発表要旨及びプロフィール

<基調講演①>

国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所
木材加工・特性研究領域チーム長杉山真樹氏
科学的木材が人に与える影響について
—科学的アプローチによる木の良さの解明—

生活環境に木材を用いたときの居心地や使い心地の良さは古くから経験的に知られている。しかし、実際に人にどのような影響を与えるのか科学的手法を用いて実証した例は少ない。今回の講演では、最新の技術開発による新たな木材利用について紹介しつつ、木材研究分野における「木の良さ」解明への取り組み、および得られた成果について解説する。

【プロフィール】

- ・1971年福岡市生まれ（長崎市出身）
- ・1995年京都大学大学院農学研究科林産工学専攻修士課程修了
- ・1997年林野庁森林総合研究所木材化工部研究員
- ・2008年京都大学より博士（農学）授与
- ・2013年4月より現職



<基調講演②>

Fumihiko Sano Studio 佐野 文彦 氏 建築家/美術家
美を再定義する

文化交流使として世界中を巡り、感じた事は何か、日本へ帰って来て何をいましようとしているのか。

【プロフィール】

- ・1981年奈良県生まれ。
- ・京都、中村外二工務店にて数寄屋大工として弟子入り。年季明け後、設計事務所などを経て、2011年独立。
- ・現場を経験したことから得た、工法や素材、寸法感覚などを活かし、コンセプトから現代における日本の文化とは何かを掘り下げ作品を製作している。また新しい価値を作ることを目指し、建築、インテリア、プロダクト、インスタレーションなど、国内外で領域横断的な活動を積極的に続けている。
- ・2016年度文化庁文化交流使



<基調講演③>

株式会社イトーキ開発本部商品企画室
第2チームチームリーダー小島勇氏
ビジネス空間における木材利用について
—最近のオフィスデザインの傾向と木づかいの可能性—

最近のオフィス空間は家庭のリビングのようなデザインが非常に多くなってきている。昨今のビジネスシーンではグローバル化やコモディティ化による価格低迷が続き、自前主義には限界がきている状況で、社内外が流動的に交わることで起きるオープンイノベーションが注目されている。オフィスに於ける木の活用とその効果でどう答えるか事例を交えて説明する。

【プロフィール】

- ・1965年山形県出身
- ・2010年中国現地法人から帰国後、国産材活用ソリューション「E c o n i f a (エコニファ)」の立上メンバーとして商品企画、デザイン監理販売促進を担当、現在に至る。

